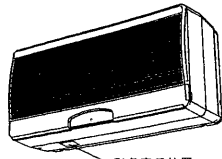


# MITSUBISHI

## 三菱換気空清機 **クリーンロスタイ**

### 壁掛2パイプ取付ロスナイ

0201872HC9104



形名表示位置

形名

寒冷地仕様	ロスナイ換気タイプ		急速排気付タイプ		
	〈引きひもタイプ〉	〈壁スイッチタイプ〉	〈壁スイッチタイプ〉	〈ワイヤレスリモコンタイプ〉*1	〈雑ガスセンサー付自動運転タイプ〉*2 (リモコン付)
VL-100U <sub>3</sub> -D	VL-100EU <sub>3</sub> -D	VL-100EU <sub>3</sub> -BE-D	VL-100EU <sub>3</sub> -BE-D		
VL-140U <sub>3</sub> -D	VL-140EU <sub>3</sub> -D	VL-140U <sub>3</sub> -BE-D	VL-140EU <sub>3</sub> -BE-D		
準寒冷地仕様	VL-100U <sub>3</sub> -J	VL-100EU <sub>3</sub> -J	VL-200EU <sub>3</sub> -J	VL-200UR <sub>3</sub> -J	VL-200UA <sub>3</sub> -J
VL-100U <sub>3</sub> -BE-J	VL-100EU <sub>3</sub> -BE-J				
温暖地仕様	VL-100U <sub>3</sub> -W	VL-100EU <sub>3</sub> -W	VL-200EU <sub>3</sub> -W	VL-200UR <sub>3</sub> -W	VL-200UA <sub>3</sub> -W
VL-100U <sub>3</sub> -BE-W	VL-100EU <sub>3</sub> -BE-W				

\*1を本書ではリモコンタイプと略します。

\*2を本書では雑ガス自動運転タイプと略します。

## 取付工事説明書 販売店・工事店さま用

この製品は使用する地域の外気温の違いにより仕様を分けています。地域に合った製品かどうか確認してください。  
※温暖地でも外風の影響を受けやすいところ(中・高層住宅や海岸沿いなど)では準寒冷地仕様製品をご使用ください。

■取付工事を始める前に説明書をよくお読みになり、正しく安全に取付けてください。

■取付工事は販売店・工事店さまが実施してください。(お客さまご自身で工事しないでください)

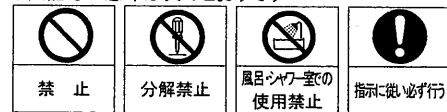
**別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡しください。**

## 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

●図記号の意味は次のとおりです



**注意** 誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止 分解禁止 風呂・シャワー室の使用禁止 指しに必ず指行

## 警告

改造や必要以上の分解はしない  
(火災・感電・けがの原因になります)

浴室など湿気の多いところに取付けない(本体・壁スイッチとも)  
(感電・漏電の原因になることがあります)

交流100Vを使用する  
(直流や交流200Vを使用すると火災や感電の原因になります)

外気の取り入れ口は、燃焼ガス等の排気を吸い込まない、積雪で埋もれない位置を選ぶ  
(新鮮な空気が取り入れられず、室内が酸欠状態になる恐れがあります)

本体の取付工事は十分強度のあるところを選び確実に行う  
(落下によりけがをすることがあります)

端子台接続部のある機種は、指定の電線を使用して、抜けないように確実に接続する  
(接続に不備があると火災の恐れがあります)

端子台接続部のある機種は、電気工士が電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実な電気工事を行う  
(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)

## 注意



直接炎のあたる恐れのある場所や油煙・有機溶剤のある場所には取付けない  
(火災の恐れがあります)

壁取付専用のため、天井には取付けない  
(落下によりけがをすることがあります)



給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるよう取付ける  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

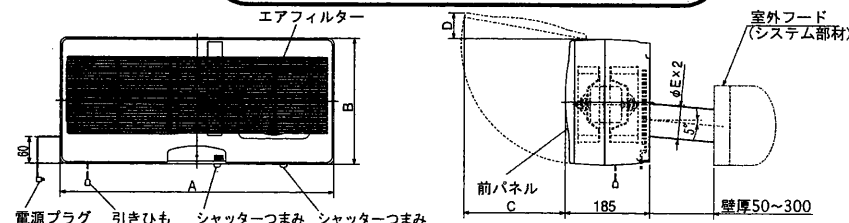
端子台カバーは工事後必ず取付ける  
(ほこり・湿気などにより漏電・火災の原因になります)

取付けの際は手袋を着用する  
(着用しないとけがをすることがあります)

専用の室外フードを取付ける  
(取付けないと雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

取付け後、長期間使用しないときは、必ず分電盤のブレーカーを切るか電源プラグをコンセントから抜く  
(絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります)

## 外形寸法図



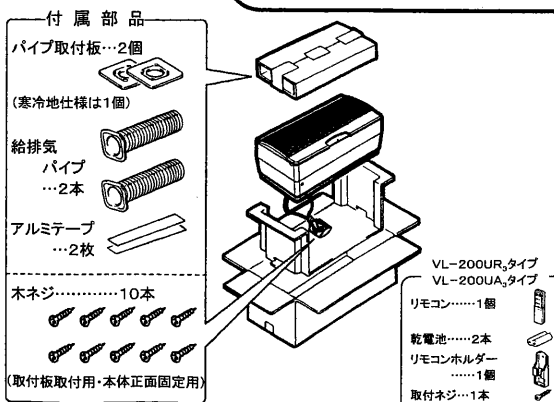
### ■変化寸法表

単位(mm)

タイプ	A	B	C	D	E
VL-100U <sub>3</sub> -J	タイプ	550	265	208	55
VL-100EU <sub>3</sub> -J					
VL-100U <sub>3</sub> -W					
VL-100EU <sub>3</sub> -W					
VL-100U <sub>3</sub> -D	タイプ	620	285	227	58
VL-100EU <sub>3</sub> -D					
VL-140タイプ	タイプ	620	285	227	58
VL-200タイプ					

- ※1 引きひもタイプのみ
- ※2 温暖地仕様を除く引きひもタイプのみ
- ※3 壁スイッチタイプ以外

## 使用部品

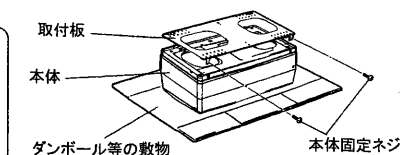


### 取付板をはずす

●本体固定ネジ2本をはずす。

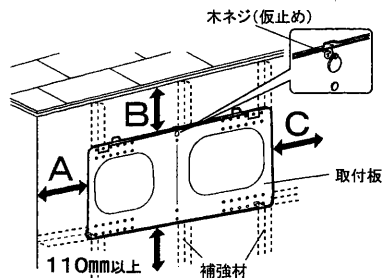
### お願い

- 本体固定ネジを保管してください。本体取付時に必要です。
- ダンボールなどを敷いて本体の傷つき防止をしてください。



# 壁穴工事

1



## 取付位置を決める

1. 取付板を壁にあてる。
2. 補強材(壁内)が取付板を固定できる位置にあるか確認する。
3. 取付板を仮止めする。(木ネジ1本)

単位(mm)

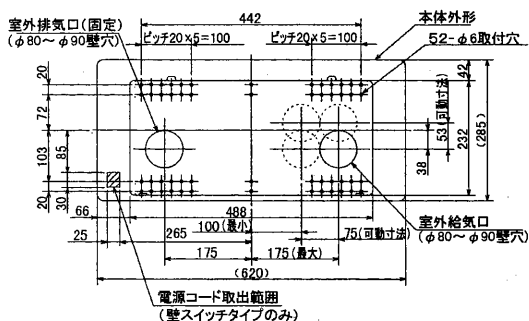
形名(タイプ)	A	B	C
VL-100U <sub>3</sub> -J, -W	81	82	81
VL-100EU <sub>3</sub> -J, -W	以上	以上	以上
VL-100U <sub>3</sub> -D, 100EU <sub>3</sub> -D	116	102	116
VL-140タイプ, VL-200タイプ	以上	以上	以上

## ■取付位置図(室内側から見る)

単位(mm)

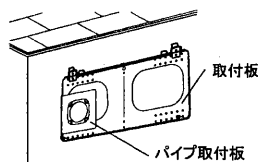
## 壁穴位置を決める

機種により異なります。左図を参照し可動範囲内で壁内の障害物をさけて位置を決める。

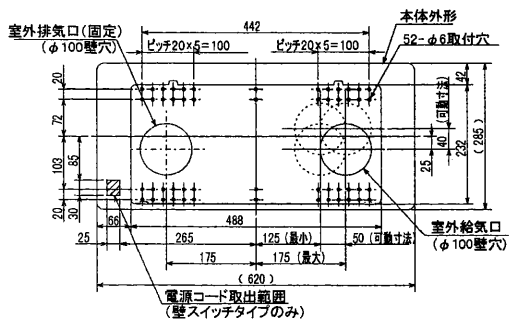


VL-100U<sub>3</sub>-D タイプ  
VL-100EU<sub>3</sub>-D タイプ

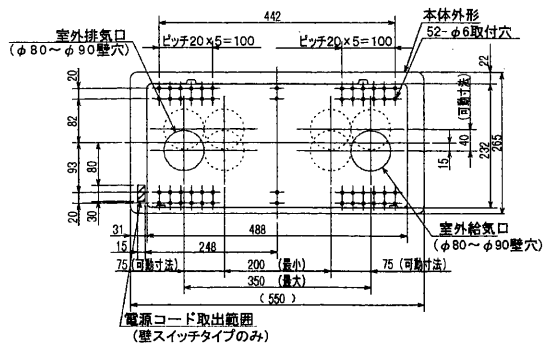
寒冷地仕様の排気側パイプ取付板は工場出荷時に取り付けられています。



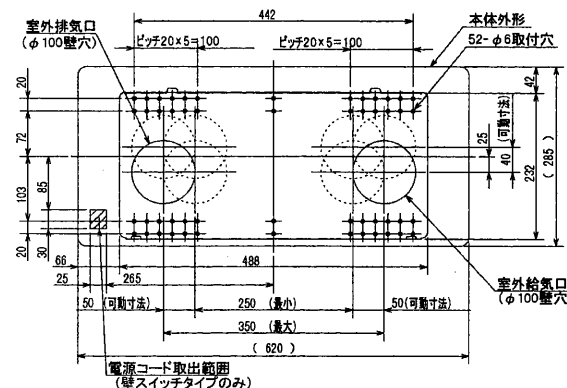
VL-140U<sub>3</sub>-D タイプ  
VL-140EU<sub>3</sub>-D タイプ



2



VL-100U<sub>3</sub>-J タイプ  
VL-100EU<sub>3</sub>-J タイプ  
VL-100U<sub>3</sub>-W タイプ  
VL-100EU<sub>3</sub>-Wタイプ



VL-200タイプ

3

## 壁穴をあける

1. 取付板をはすす。
2. 下表の径の壁穴をあける。

タイプ	壁穴の大きさ	壁穴角度
VL-100タイプ	φ80~φ90mm (パイプを延長する場合はφ90mm)	5°
VL-140タイプ	φ100~φ110mm (パイプを延長する場合はφ110mm)	5°
VL-200タイプ	φ100~φ110mm (パイプを延長する場合はφ110mm)	2°~5°

## お願い

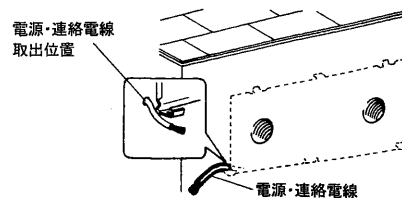
- 壁穴は室外側に下りこう配となるようにあけてください。雨水の浸入防止のために必要です。

## 壁スイッチタイプ

## 電源・連絡電線を引き出す

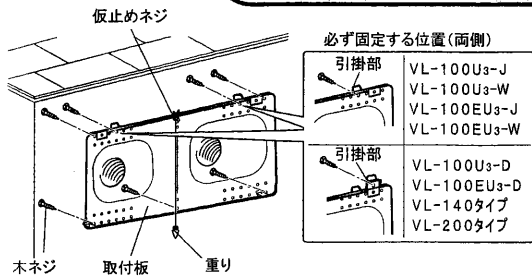
1. 電源・連絡電線取出位置を決め、壁穴をあける。(取付位置図参照)
2. 電源・連絡電線を室内側へ引き出す。

4



2

# 取付方法



## 取付板の取付け

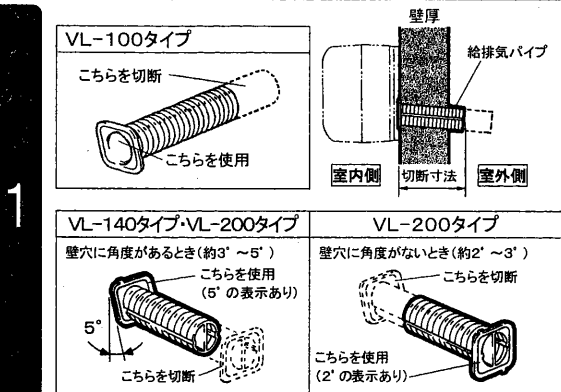
- 取付板を壁に固定する。  
(木ネジ7本、仮止めネジ1本)

### お願い

- 取付板引掛部近くの2か所は必ず固定し、他は均等な位置に固定してください。
- コンクリート壁の場合はコンクリートビス(市販品)で固定してください。

### ミニ情報

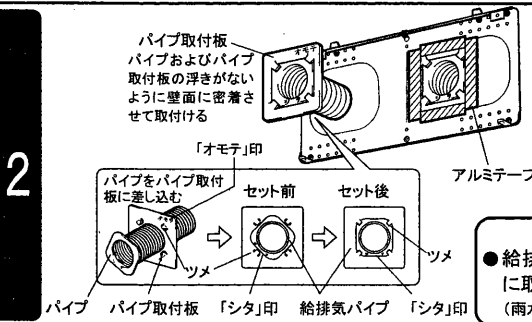
- 重りを吊り下げると取付板の水平が出せます。



## 給排気パイプの切断

1. 壁厚を測る。
2. 切断する方向を決める。  
●製品形名および壁穴の角度により、切断する方向が異なります。(左図参照)
3. 下表の寸法でパイプを切断する。(室外フードによって切断寸法が異なります)

室外フード	切断寸法
防火ダンパーつき	壁厚+10mm
防火ダンパーなし	壁厚+30mm



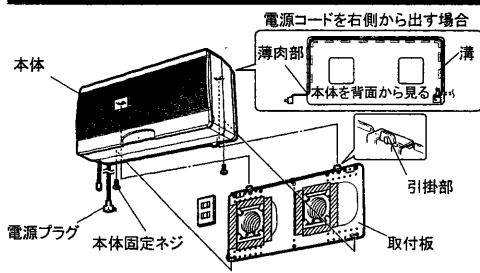
## 給排気パイプの固定

1. 給排気パイプをパイプ取付板に差し込む。(パイプ取付板の「オモテ」印を手前にする)
2. 左回りに回転させ、ツメ4か所で固定する。給排気パイプを壁穴に通す。(「シタ」印を下にする)
3. 付属のアルミテープで壁面に密着するように確実に固定する。

### 注意

- 給排気パイプは室外に向かって下りこう配になるように取付ける  
(雨水の浸入による感電・火災や家財等を濡らす原因になります)

## 引きひも・リモコン・雑ガス自動運転タイプ



## 本体の固定

1. 本体を取付板に引っ掛ける。
2. 本体固定ネジ2本で本体を固定する。  
このとき、電源コードを本体側面の切欠部に確実に入れ込む。(本体を壁側に押しつける)

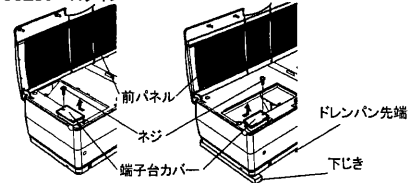
### 電源コードを右側から出す場合

- (1) 本体右側面の薄肉部を打ち抜き、切欠部をつくる。
- (2) 電源コードを本体背面の溝に通し、右側へまわす。

3. 電源プラグをコンセントに差し込む。

## 壁スイッチタイプ

VL-100EU3-Jタイプ VL-100EU3-Dタイプ  
VL-100EU3-Wタイプ VL-140EU3, 200EU3タイプ



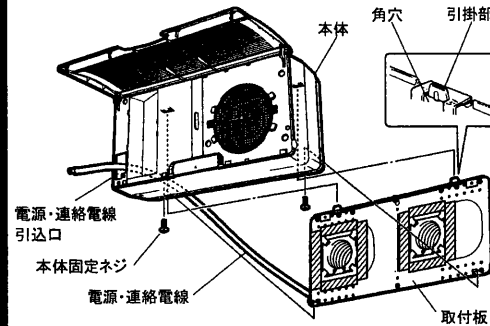
## 前パネルを開け、端子台カバーをはずす

1. 前パネルの両側に手を掛けて開ける。  
●ドレンパンの先端を保護するために左図のように下じきの上のせてください。  
(寒冷地仕様のみ)
2. ネジ1本をはずし、端子台カバーをはずす。

### お願い

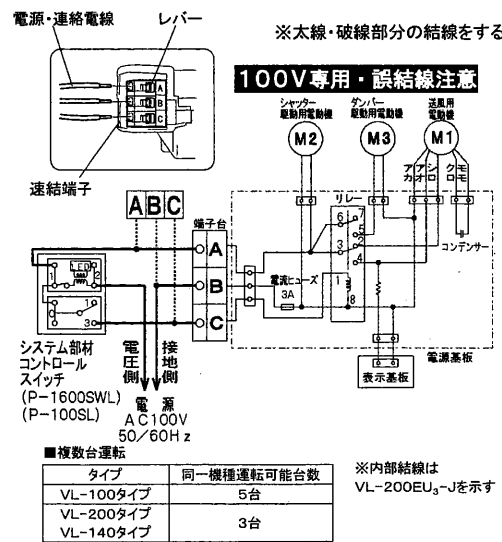
- はずした端子台カバー・ネジは無くさないよう保管してください。

3



## 本体の固定

1. 電源・連絡電線を引込口から本体内部に引き込む。
2. 本体を取付板に引っ掛ける。
3. 本体固定ネジ2本で本体を固定する。  
(本体を壁側に押しつける)



## 結線をする

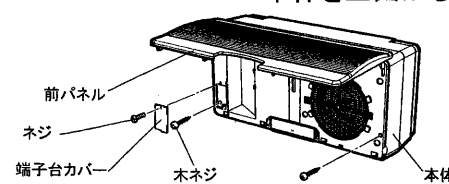
運転にはコントロールスイッチが必要です。システム部材のコントロールスイッチを準備して、説明書に従って取付ける。

1. 電源・連絡電線を先端8.5mm皮むきし、速結端子に差し込み、レバーをたおす。(適用電線VVF単線φ1.6)

### お願い

- 他社のスイッチを使用する場合も、必ず結線図に従ってください。(スイッチへの結線部分と渡り線が異なり、誤結線となる場合があります)
  - 誤結線により、内蔵リレーのチャタリングが発生する場合があります。このとき他の電気製品(医療機器含む)に電波障害が生じる可能性があります。必ず結線図に従ってください。
2. 速結端子から電線が抜けないことを確認する。
  3. 端子台カバーを元通りネジ止める。
  4. 前パネルを閉める。
  5. 分電盤のブレーカーを入れる。

## 本体を正面から固定する場合



1. 本体を取付板に引っ掛ける。
2. 前パネルを開く。
3. ネジ1本をはずし、端子台カバーをはずす。
4. 付属の木ネジ2本で固定する。  
●ロングドライバー(軸長200mm以上)必要
5. 端子台カバーを元通りネジ止める。
6. 前パネルを閉じる。

## 屋外工事

システム部材の室外フードを取付けてください。  
取付方法は室外フードに付属の取付工事説明書を参照してください。

## 取付工事後の確認

- 取付工事終了後、試運転の前にチェック表に従って点検する。
- 不具合があった場合は必ず直す。(機能が発揮されないばかりか、安全性が確保できません)
- チェック表

	チェック項目	不具合時の対策	チェック
取付工事	本体の取付け強度は十分ですか？	補強等を施す	
	本体が確実に取付けられていますか？	本体固定ネジを締め直します	
	前パネルが確実に閉じられていますか？	前パネルを閉じ直します	
	コーキングはしましたか？ (室外側：給排気パイプ、室外フード)	コーキングをします (コーキングをしないと雨水が浸入します)	
	電圧は100Vですか？	100Vに直します (異電圧を印加すると製品が破損します)	

### 《電圧チェック表 壁スイッチタイプの場合》

モード	スイッチ操作	端子間電圧 <sup>※1</sup>	チェック欄
停止	切	A-B 0 V	
	強	A-C 0 V	
		B-C 0 V	
強運転 <sup>※2</sup>	入	A-B 100 V	
	強	A-C 100 V	
		B-C 0 V	
弱運転 <sup>※3</sup>	入	A-B 100 V	
	弱	A-C 0 V	
		B-C 100 V	

●測定した電圧が左表の端子間電圧と異なる場合は、誤結線されていると考えられます。電源を切って、結線図に基づき結線をやり直し、再度チェックしてください。

- \*1 端子間電圧は、電源電圧の変動により若干異なる場合があります。
- \*2 VL-200タイプは「強運転」が「急速運転」となります。
- \*3 VL-200タイプは「弱運転」が「ロスナイ運転」となります。

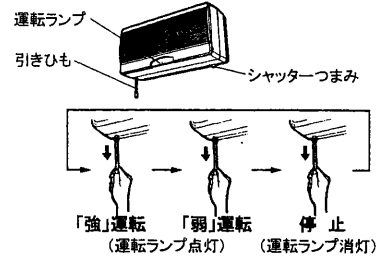
## 試運転

試運転はできるかぎりお客さま立ち会いで行う。  
チェック表に従ってチェックする。

### ■チェック表

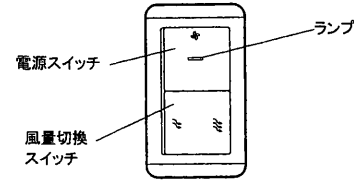
	チェック項目	不具合時の対策	チェック
試運転	スイッチ操作と本体動作は合っていますか？(壁スイッチタイプのみ)	誤結線です 結線図に従って結線を直します (本体は破損しません。電圧チェック表で確認します)	
	羽根当り音がしませんか？	前パネルを開け、エアフィルターをはずしてゴミなどを取り除く(見える範囲のみ)	
	運転開始時/停止時に異常音がしませんか？	パイプ、パイプ取付板が浮かないように壁面に密着させてください	
	シャッターがスムーズに動作しますか？(引きひもタイプのみ)		

### 引きひもタイプ



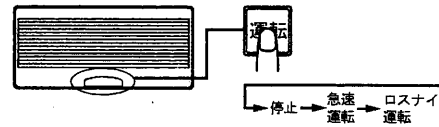
### 壁スイッチタイプ

コントロールスイッチ(P-1600SWLの場合)

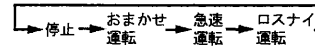


形名	スイッチ右側を押す	スイッチ左側を押す
VL-100EU <sub>3</sub> タイプ	「強」運転	「弱」運転
VL-140EU <sub>3</sub> タイプ	「急速」運転	「ロスナイ」運転
VL-200EU <sub>3</sub> タイプ	P-100SL <sub>2</sub> を使用の場合はスイッチに同梱の説明書を参照し、ネームカードを差し換える	

### リモコンタイプ



### 雑ガス自動運転タイプ



### 運転状態の確認

1. シャッターつまみを「ひらく」の位置にする。
2. 引きひもを引いて運転操作をする。
3. スイッチ指示に合わせ正常に運転するか確認する。

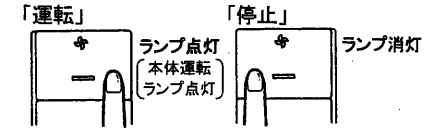
### お願い

- シャッターつまみが「とじる」の位置にあると引きひもを引いても換気できません。

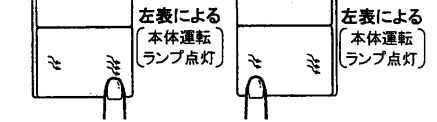
温暖地仕様にはシャッターはありません

《コントロールスイッチ》で操作する。  
スイッチ指示に合わせ正常に運転するか確認する。

### 1. 電源スイッチ



### 2. 風量切換スイッチ



1. 本体の運転スイッチを押すたびに運転が切り換わるか確認する。

1. 本体の運転スイッチを押すたびに運転が切り換わるか確認する。

## お客さまへの説明

- コンセント(壁スイッチ)と分電盤のブレーカーの位置をお客さまへ説明してください。
- チェック表の結果をお客さまへお知らせください。
- リモコンタイプ・雑ガス自動運転タイプは「リモコン」・「リモコンホルダー」・「乾電池」をお客さまへお渡しく下さい。
- この「取付工事説明書」は、別冊の「取扱説明書」ともにお客さまへお渡しく下さい。
- お客さまが不在の場合は、発注者(オーナーなど)また管理人へ説明してください。

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111

この説明書は、再生紙を使用しています。